

つ く し ん ば

No.464
2022年
6月1日
(水)

6月号
(水無月)
文責：瀧口

レイニーブルーをふきとばそう!

春から初夏、梅雨と季節の移り変わりを体感する時期となりました。遠足や運動会などの行事が一段落し、学校生活も落ち着いてくるころです。しかし、残念なことに(私だけではないと思いますが)6月には祝日がありません。「ちょっと一息」ができない分、体調に気をつけてジメジメシーズンをのりきらなくてはと思っています。

ことばの教室に来て、元気にあいさつする子ども達にパワーをもらいながら、今月もがんばります。

はつけよい すもうとる
 こんにちは ぼうしとる
 天どんの 出前とる
 セーターの ごみをとる
 のらねこの 写真とる
 看護師さん みやくをとる
 お花見の 場所をとる
 コーラスの 指揮をとる
 たんじょう日 としをとる
 リリリリリ 受話器とる

とる

川崎 洋

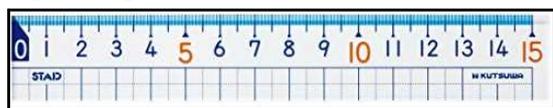


学校で使う道具

2年生の女の子と『長さ』の学習をしました。彼女の持っていた定規は、普通によくある端が「0」でないものでした。「0」に合わせて直線を測るよう声をかけるのですが、なかなか端が「0」に合いません。合わせなきゃと思うほど、うまくいかないのでしょう。そこで端が「0」の定規を使って、学習を進めました。

家庭には便利で使いやすい道具が増えてきました。しかし、学校では昔ながらの道具を使う場面、(学習をはじめ、そうじや給食の配膳など)が多くあります。1人1台タブレットを使用するといっても、鉛筆と消しゴムを使う学習はなくなりません。手先が不器用である場合、道具の扱いは難しいものです。指先の感覚を磨くためにわざとでんぷん糊を使うことがあるように、「手指の巧緻性を育てる」ことに重点を置くか、「巧緻性よりも使いやすい道具を使ってストレスを軽減させる」ことを大切にするか、悩むところです。ことばの教室では、「できた喜びで自信につなげる」ことを大事にしたいので、子どもたちが使いやすい道具を使おうと考えています。

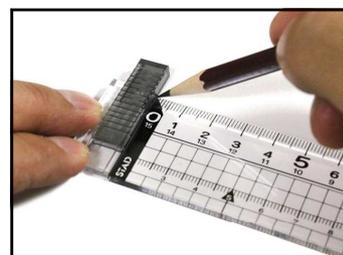
【定規】



↑「0」からはじまっているもの決まった長さの直線を引く時はおずかしいかな。



↑真ん中の3つの〇に指を置いて押さえると、ずれません。きちんと直線を引く時に便利。→



【鉛筆】



↑太く三角軸の鉛筆。指でイラストで押さえる場所を教えてください。

【分度器】



↑180°も一度に測ることができます。

【消しゴム】



↑ねらった場所が消しやすい。



【コンパス】

→
上を握って、
円が回す
だけ！



【「できるびより」さんの開発商品】



←ガラガラ感触が脳によく伝わり、文字と手の動きが一致しやすくなります。

どこを読んでいる→のかよく分かり、その一行に集中することができます。



↑でこぼこが机にくっつき、すべらないので、角がそろいます。



「できるびより」カタログ